

計画研究 A03 (課題番号: 06208106)

宝玲文庫・琉球資料の史料的研究

研究代表者: 横山 學・ノートルダム清心女子大学・人間生活学部・教授

1. 研究項目: A03 琉球・沖縄の歴史的文物の情報化
2. 研究課題名: 宝玲文庫・琉球資料の史料的研究(課題番号: 06208106)
3. 研究期間: 平成6～9年度(1994～1997)
4. 交付研究費: 平成6年度 4,700千円
平成7年度 4,700千円
平成8年度 4,100千円
平成9年度 2,000千円 合計 15,500千円

5. 研究組織(氏名: 所属機関・部局・職)

(研究代表者) 横山 學: ノートルダム清心女子大学・人間生活学部・教授

(研究分担者) 知名 定寛: 神戸女子大学・文学部・助教授(平成6～8年度)

(研究分担者) 上原 兼善: 岡山大学・教育学部・教授(平成6・7年度)

(研究分担者) 真栄平房昭: 神戸女学院女子大学・文学部・助教授(平成6・7年度)

(研究分担者) 末次 智: 四條畷女学園女子短期大学・教養学科・講師

研究組織は上記の通り構成した。全期間4年間の内、前半2年間は上記の5名がその構成員となり、後に、公募研究応募により新たな研究課題を設定し分流したため、その後は3名、2名と変化した。書類上の組織変化は別として、研究会・情報交換においてはその関係は依然として維持された。

6. 研究目的

本研究は、重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」の一領域を構成し、琉球・沖縄に関する各種の情報を包括的に調査収集し、関係資料の情報化と集積を進めることにある。とりわけ中心課題としては、琉球・沖縄の歴史的資料として国際的に評価の高い故フランク・ホーレーの収集した宝玲文庫「琉球資料」を分析し、徹底した目録化と歴史情報を研究目的とした分析を行う。さらに書誌情報を加えて情報化し、結果として琉球・沖縄研究に貢献しようとするものである。また、近世における琉球研究の基本資料とされている琉球国船漂着記録「大島筆記」には複数の異本が存在することは研究者には未紹介である。そこでハワイ大学「宝玲文庫」には数種の異本が所蔵されていることに注目し、これ

らの情報化をはかることにした。さらに、琉球・沖縄史料の所在情報が完備されていない現状に対して、国内図書館・研究機関所蔵琉球史料についての「国内所蔵琉球史料目録」を作成し、広く研究に供した。

7. 研究計画の概要

当該研究は、琉球・沖縄歴史資料の情報化を主たる目的として実施し、併せてその研究過程においてなされた研究成果を公表することにする。具体的には、目録作成として、沖縄・東京などの日本国内に所蔵されている宝玲文庫に関わる資料の調査と「宝玲文庫琉球資料国内所蔵目録」の作成、さらに自費によるハワイ大学所蔵の宝玲文庫琉球資料の調査と複写資料の作成、そして国内所蔵の「国内所蔵琉球史料目録」を作成した。また、基本的な琉球史料として周知されながら、史料の実際についての紹介が不十分であった「大島筆記」については、宝玲文庫本と他のものを合わせた複数の異本を調査した上で、適当な史料を全文翻刻し、それらの画像を含めて情報化することにした。

8. 研究経過

当該研究班は情報化資料作成のための調査を下記の通り行ない、必要に応じて研究会を実施した。

資料調査活動の実績

平成6年度

07/06 ~ 09	沖縄国際大学南島文化研究所調査	マイクロfilmの調査
07/04 ~ 07	沖縄国際大学南島文化研究所調査	マイクロfilmの調査
09/13 ~ 15	琉球大学図書館調査	宝玲文庫資料の調査
10/23 ~ 26	琉球大学図書館調査	宝玲文庫資料の調査
10/31 ~ 11/02	法政大学沖縄文化研究所	宝玲文庫資料の調査
01/20 ~ 22	ホーレー夫人面談調査	宝玲文庫資料の調査
03/14 ~ 17	沖縄県立図書館調査	宝玲文庫資料の調査

平成7年

06/25 ~ 27	国立国会図書館調査	宝玲文庫資料の確認
07/03 ~ 05	沖縄県立図書館	宝玲文庫資料の確認
07/30 ~ 08/02	高知県下・「大島筆記」関係資料調査	
07/21 ~ 08/26	ハワイ大学宝玲文庫調査	資料調査
10/28 ~ 30	国立国会図書館・早稲田大学図書館	宝玲文庫資料の確認
11/25 ~ 27	国立国会図書館・早稲田大学図書館	宝玲文庫資料の確認

平成8年

01/20 ~ 22	早稲田大学図書館	宝玲文庫資料の確認
03/04	岡山ノートルダム清心女子大学・宝玲文庫資料の整理確認	

9. 研究成果の概要

研究調査および研究会を実施した結果、下記の成果を得た。

「宝玲文庫琉球資料国内所蔵目録」

「大島筆記」全文情報化

「大島筆記」画像情報化

「国内所蔵琉球史料目録」

当該研究に関わる研究発表

当該研究は目録作成および情報化を目的とするものであるが、この作業を進める中で行われた研究については、以下のごとく各自公刊している。

横山 學

[共著] 1997年 Sources of Ryukyuan History and Culture in European Collections

Iudicium verlag GmbH, Munchen J.Kreiner(Ed.)

" Ryukyuan Resources in Japan and Ryukyuan Resources in Japan
and the Database Project"

1995年 『1920年代ハワイ日系人のアメリカ化の諸層』、同志社大学人文科学研究所

「坂巻駿三プロフィール(稿)」、176～189頁。

[論文] 1997年 「琉球国漂着船記録「大島筆記」諸本について」(『生活文化研究所年報』第11輯)

1996年 「ワカ・ホレーと研究社『簡易英英辞典』の編纂」(『生活文化研究所年報』第10輯
63～84頁)

1996年 「『トラベラーズ 70』に見るワカ・ホレーの逮捕・拘留」(『生活文化研究所年報』第
10輯 85～104頁)

1995年 「フランク・ホーレーの日本研究と辞書編纂」(『生活文化研究所年報』第9輯 25～
72頁)

1994年 「フランク・ホーレーと和紙研究」(『生活文化研究所年報』第8輯、27～74頁)

1993年 「フランク・ホーレーと関西アジア協会」(『生活文化研究所年報』第7輯、23～
76頁)

1992年 「フランク・ホーレー「琉球コレクション」」(『生活文化研究所年報』第6輯、77
～148頁)

1991年 「ハワイ大学宝玲文庫「琉球コレクション」成立の経緯」(『生活文化研究所年報』
第5輯、37～65頁)

知名定寛

[著書] 1994年 『沖縄宗教史の研究』、榕樹社、1～466頁。

末次 智

[論文] 1994年 「天理大学附属天理図書館所蔵『琉歌集』解説と翻刻」(『歌謡 研究と資料』、歌謡
研究会、40～72頁)

1992年 「天理図書館蔵『沖縄祭歌』 王堂本『おもろそうし』解説と翻刻」(『歌謡 研究
と資料』第5号、37-55頁。

10. 情報化資料の概要・主要資料の解題

「宝玲文庫琉球資料国内所蔵目録」

ジャーナリスト、そして日本学研究者であり、東洋関係の貴重・稀覯図書の収集家でもあったフラ

ンク・ホーレーが、生涯を通じて琉球史料の収集においても熱心であったことは琉球・沖縄研究者間では周知のことであった。彼の死後、遺された膨大な蔵書は売り立てに出され、世界中に散っていった。幸いにも「和紙関係」は中山正善により天理図書館へ、「琉球関係」は坂巻駿三によりハワイ大学に引き取られた。

ハワイ大学に移った宝玲文庫「琉球資料」は、比嘉春潮・仲原善忠・小葉田淳らにより整理・研究されたが、この琉球資料の具体的な内容については、殆ど公表されていなかった。近年になりこれらの複製資料の一部が、紆余曲折を経て法政大学沖縄文化研究所に所蔵されることになった。また、琉球大学附属にも複製資料の一部が所蔵されていることが判明した。一方で、この「琉球資料」に注目した沖縄県立図書館が、フィルム画像による宝玲文庫「琉球資料」の収集を実施することとなり、筆者がその仲介をなし、資料の選別に関わった。結果として、法政大学沖縄文化研究所・沖縄県立図書館・琉球大学附属図書館には部分的ではあるが、ハワイ大学宝玲文庫「琉球資料」が複製資料の形で所蔵されることになった。そこで、所蔵個所情報の含まれる包括的所蔵目録の必要性を強く感じて、「宝玲文庫琉球資料国内所蔵目録」を作成するにいたった。

具体的には、研究分担者ととも国内各所に収集された複製資料を検証し、ハワイ大学に所蔵のものとも対照作業を行った。加えて、沖縄国際大学南島文化研究所に所蔵されている所謂「宝玲文庫資料」の確認作業を行い、無関係であることの確認を行った。また、琉球・沖縄研究において重要・貴重と判断したものは、ハワイ大学出かけマイカワイルムの形で沖縄県立図書館に収めた。同時に、別途必要な資料については領域研究代表者の所属するノートルダム清心女子大学生活文化研究所に、フィルム・CD-ROM・複製資料の形で収蔵した。(全 942 件、70KB・CSV 形式)

「大島筆記」全文情報

複数存在する「大島筆記」の内、適当と判断した「大島筆記」(木村蒹葭堂本・内閣文庫所蔵)と「大島筆記」(山田氏本・ハワイ大学「宝玲文庫」所蔵)について、研究分担者と共に全文を翻刻し、凡例と共に電子情報化した。

「大島筆記」(木村蒹葭堂本・内閣文庫所蔵) 163KB・テキスト形式

「大島筆記」(山田氏本・ハワイ大学「宝玲文庫」所蔵) 131KB・テキスト形式

「大島筆記」画像情報

複数存在する「大島筆記」の内、適当と判断した「大島筆記」(山田氏本・ハワイ大学「宝玲文庫」所蔵)と「大島筆記」(西壮文庫三冊本・ハワイ大学「宝玲文庫」所蔵)について、カラーおよびモノクロで凡例と共に画像情報化した。

「大島筆記」(山田氏本・ハワイ大学「宝玲文庫」所蔵) JPEG 形式 13.6mb

「大島筆記」(西壮文庫三冊本・ハワイ大学「宝玲文庫」所蔵) BMP 形式 10.5mb

「国内所蔵琉球史料目録」

研究代表者が長年にわたり調査した琉球・沖縄史料について、所在情報を含めた目録を凡例と共に作成した。(全 4775 件、340KB・CSV 形式)

11. 情報化資料の利用マニュアル

以下のものを情報化し、CR-ROM およびホームページにおいて公開する。

「宝玲文庫琉球資料国内所蔵目録」 「大島筆記」全文情報化

「大島筆記」画像情報化

「国内所蔵琉球史料目録」

調査の過程において収集した宝玲文庫琉球資料の複製資料は、ハワイ大学図書館との契約により、領域研究代表者の所属するノートルダム清心女子大学生生活文化研究所に保管することとし、必要に応じて利用の便宜を図ることとする。